

'07 参院選

終盤戦

当選してほしい人 落選してほしい人

投票基準を考える | 金子勝 なだいなだ 朴慶南
田中信一郎 佐高信



年金で損をしないための自衛策

大反響 「慰安婦」母子の告発 第3回

椎名誠の写真エッセイ

メコン川には4000あまりの川中島がある。人の住んでいるラオスのコーン島で耕運機がわりの水牛を連れて行く少年と会った。

地方議員も結集し 「美しい国」づくり

星徹

日本会議地方議員連盟、秋に設立総会

「美しい国」づくりと称して、復古的国家主義と憲法改定への流れを作りつつある安倍政権。これを陰で支える日本会議は、全国で地方議員の力を結集しつつある。実態を取材した。

日本会議は、一九九七年に「日本を守る国民会議」と「日本を守る会」が統合して結成された日本最大級の右派組織だ。主な主張は、①皇室を敬愛し、日本の伝統・文化を大切に、②日本を一方的に悪者扱いする東京裁判史観の見直し、③権利偏重の教育、自虐的な歴史教育、ジェンダーフリー教育の是正、④新憲法の制定、⑤早急な防衛体制の整備、⑥日本の戦没者を追悼する心を広く国民に涵養する、など（日本会議ホームページ（HP）より要約）。

日本会議国会議員懇談会はこれと同時に設立され、現在では自民党国会議員の過半数が加入している。また、安倍内閣の大臣の過半数も同会に所属し、安倍晋三首相自身も中心メンバーだ（注）。

二〇〇五年三月には、首都圏を中心とする地方議員で組織する日本会議首都圏地方議員懇談会（以下「首

都懇」が発足。昨年一月には、この全国版とも言える日本会議地方議員連盟（以下「地方連盟」）も設立された。「日本会議と超党派の日本会議国会議員懇談会と連携して、地域から『誇りある国づくり』を推進し、国家の基本問題に取り組み、憲法改正を目指す」（HPより）とし、今年秋に設立総会が開催される予定だ。現在約一〇〇〇人の正会員を三〇〇〇人に増やす目標だという。「地方連盟」は何を目指しているのか。



日本会議地方議員連盟の現状と今後を語る犬伏秀一・東京都大田区議員。

地域からも「美しい国」づくり

「首都懇」幹事長で、「地方連盟」設立代表発起人の一人でもある東京都大田区の大伏秀一（いぬふしでかず）区議会議員（自由党）は、「地方連盟」設立の狙いを次のように語る。

「全国各地にいる日本会議正会員の地方議員を束ねることを目的に『地方連盟』は作られた。まだ実質的な活動は行なっていないが、現在は日本会議の支部を全国に設立することに力を注ぎ、各支部が母体となって会員をさらに増やしていく方針だ。共産党など左派は横の連携が強く、地域の声を国政に反映させるのがうまい。それに比べると、われわれ右派は個々ばらばらに動くだけで、地域の声が有効に国政の場に反映されてこなかった。それではいけないという思いから、両組織を立ち上げた。

増やしているようだ。

東大阪市議会では、保守系三派（自民・自民刷新・市議会自民）の二〇人全員が入会している。「自民」幹事長の大野一博議員などによると、日本会議の主張する「日本と郷土を大切にすること」に賛同し、もともと一つだった保守系三派の幹事長で合意して、「全員で入会しよう」ということになったという。

「今の世の中は乱れている。今こそ原点にかえり、安倍政権の主張する『美しい国』づくりを地域から応援していきたい」と大野議員は語った。

批判派は現状認識を

今回取材した地方議員の多くは、日本の教育現場や家庭の荒廃を憂え、若者の道徳心の喪失を嘆き、愛国心・愛郷心の大切さを訴えた。彼らは真剣かつ行動的だ。そういった彼らの主張に対して、「そのとおりだ」と思い支持する市民が多数いることも、分かる気がする。「支持者」としては、彼らは「日本の良き伝統と文化を大切にする熱血漢」と映

相だ」とし、「美しい国」づくりの土壌を地域から作りたい」と語る。

東京・港区の水野統弘区議会議員（自民党）は、櫻井よしこ氏の講演を聞いたり、勝岡寛次著『抹殺された大東亜戦争』（明成社）を読むなどして、今の日本のあり方に疑問を抱くようになり、神社関係者などからの誘いもあって昨春に日本会議に入会したという。

「今の日本は米国の言いなりだ。米国の占領政策によって、こうなってしまった。北朝鮮に拉致された日本人を武力で取り戻せるような国にすべきだ」「日本の『正しい歴史』を教えるべきだ」と主張する。

同氏は、新自由主義的な小泉改革を「本来の自民党のあり方ではない。地域社会を破壊してしまった」と批判する一方で、安倍政権には「道徳心を大切に、新しい憲法をつくらうとしている」と期待している。

着々と増える日本会議派

東京・府中市の杉村康之市議会議員（民主党）は、四年前に自由党

国会議員にだけ任せてはおけない、われわれ地方議員が頑張って地域から国を変えていこう、という思いだ」個人的には「伝統・文化と愛国心を大切に、自国を外敵から守れる軍隊を正式に位置づけ、そのために憲法改正が必要だ」と言う。また、戦後に左派の人々が「個々人、あなたらしくあればいい」などと言ってきたせいで「家庭の崩壊」を招いたので、「にこやかな家族」を再生するには、ジェンダーフリー教育の行き過ぎを是正し、地域力を復活させることが必要だ、と訴える。

東京・豊島区では、五人の区議会議員が「地方連盟」の正会員だ。その一人のA議員（自民党）は「日本の良き伝統・文化を取り戻し、学校現場に『日の丸・君が代』を根づかせたい」と抱負を語る。会員の豊島区議で日常的に集まり、勉強会を行っているという。

安倍首相については「私にとって日本会議にとっても期待通りの首

二〇〇六年九月二六日に発足した安倍内閣の閣僚たち。この中で過半数が日本会議国会議員懇談会のメンバーだ。（写真提供／毎日新聞社）



め、「美しい国」づくりを積極支援していく決意のようだ。

私が彼らに望むのは、歴史を「ロパガンダの道具」と考えるのではなく、歴史の事実と真摯に向き合い、自己を相対化した上で自らの主張をしてほしい、ということだ。

他方で、彼らに反対する側は、彼らを「偏狭な右翼」などと揶揄するだけでなく、「陣地戦」で厳しい状況になりつつあることを認識すべきだ。議会制民主主義の社会は、事実と論理の正当性を追求することを大前提としつつも、最終的には有権者をどちらがより多く味方にできるかを競い合うものだ。「敵」を知り、その